



僕にも教えて（上条区の上め縄づくり）

29年12月定例会概要	.....	2P	~	3P
一般質問	.....	4P	~	6P
木曾広域連合議会定例会報告他	.....	7P	~	8P



## 新年あけましておめでとうございます

2018年の輝かしい年を迎え、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より、議会運営にご理解ご支援お力添いを賜り厚くお礼申し上げますと共に、昨年は、多くの村民の皆様方から傍聴をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は御嶽山噴火災害から3年が経ち、風評被害も消えつつある中、木曽町を震源とした震度5強の地震、そして連続的に上陸した台風、長雨による被害など、改めて自然の猛威と恐ろしさを感じた年でした。また、北朝鮮による度重なる核実験および弾道ミサイルの発射は深刻さが増し、脅威であります。国民が安心、安全に暮らせるよう、法的含む政策措置を確実に進めていただくことが必要不可欠であります。

また、10月には、国政選挙と地方選挙が同時期に行われたことにより、村議会選挙に盛り上がり欠けた感もありました。そういった状況下の中、地方議会においても議員のなり手不足が深刻化し、有権者から関心が薄れ、厳しい運営が現実的になりつつあります。

さて、村の課題は少子高齢化、人口減少が進み、結果空き家が増え、水田の荒廃地に生産者の高齢化が相まって益々荒れてきているのが現状であります。現状をしっかりと見捉え今までの政策をもう一度絞り込みをするとともに、実状にあった小さな村は、小さい村なりに、余り背伸びをせず身の丈にあった村づくりを推進し重ねていくことが求められます。

そういった課題を背負い、4年に一度の村議会議員選挙が行われ、新たに6名が当選されました。新生議会の下、議員一人ひとりが強い決意をもって、議会運営のレベルアップは基より、住民としっかりと向き合い、寄り添い、付託に応じられるよう次元を高め、本来的役割、義務を果たして参りたいと思います。

結びに、村民の皆様方の今年一年が平穏であると共に、ご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成30年1月吉日  
王滝村議会議長 下出 謙介

# 平成29年度一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ60,749千円を追加

## 一般質問に3氏が登壇

王滝村議会12月定例会は、12月13日に開会し、29年度の一般会計と特別会計の補正予算、条例の改正など9議案を原案通り可決した。

また、同日行われた一般質問には3氏が登壇した。

### <補正予算の主な内容>

- ①6月25日発生の地震災害及び8月8日発生の台風による豪雨災害（新滝上村道41号線）の災害復旧費へ、国庫負担金及び地方債の財源充当
- ②宿泊者優待券事業の追加
  - 商工振興費 補正額2,909千円
    - ・宿泊者優待券事業の優待券発行枚数を1,000セット追加し、7号補正分と合わせて3,000セットとするもの。
- ③人事院勧告に伴う期末手当等の追加



中学生2名をはじめたくさんの村民の方が傍聴に来てくださいました

### 一般会計補正予算質疑

#### ● 集落支援員について、

**問（吉田）** 7月に1名、8月に1名、10月に1名、計3名の集落支援員を採用しているが、それぞれの活動内容について伺いたい。

**答（村おこし推進課長）** 滝越地区の活性化に取り組んでいく支援員が1名、王滝の食文化の継承に取り組んでいく支援員が1名、王滝村の福祉全般に取り組んでいく支援員が1名となる。

**問（吉田）** 食文化については、現在「ひだみ」でも行っているが、連携はとっていくのか。

**答（村おこし推進課）** 既にひだみとは連携をとって進めている。

#### ● 宿泊者優待券の追加について

**問（胡桃澤）** 宿泊者優待券の追加についてうかがいたい。7号補正の時にも申し上げたが、お客様に対しても大変メリットの大きい事業である。追加については賛成であるが、宿泊業者ばかりが優遇されているとの批判もあることから、優待券の使用に関して宿泊業者にある程度の条件をつけるべきだと考える。例えば、固定資産税等の税金の滞納がないなどが考えられると思うがいかがか。

**答（村づくり推進課長）** そのことについては、税の公平性からも必要だと考えており、1,000セットの追加分についてはその方向で検討する。

● 乗馬観光について

**問（三浦清）** 一般会計補正予算とは直接関係がないが、滝越上黒沢の以前養魚場があった場所が、現在は馬牧場になっているようであるが、最近は何の動きもない。現在の状況について伺いたい。

**答（村おこし推進課長補佐）** 滝越の観光牧場は、地域おこし協力隊員が起業化を目指していた。また、蓼科の観光牧場の会社がこれを支援することで、一緒に起業しようとしていたが、隊員とこの民間企業との間でトラブルがあり、民間企業が撤退した。元協力隊員だけでは起業化出来ないということで、現在はストップしている。

**問（三浦清）** その後、やるのか、やめるのか伺います。

**答（村おこし推進課長補佐）** 蓼科の民間企業では、今後やりたいという隊員がいれば、協力は惜しまないと言っている。協力隊員とともにやる方向で検討している。

**問（三浦清）** いろいろやる中で、失敗はあると思うが、私としてはこの観光牧場はやめるべきだと思う。滝越地区での協力者もあるようだが、今後進めるのか、やめるのか再度伺います。

**答（村おこし推進課長補佐）** 今、滝越地区で協議会を立ち上げようとしている。地区の皆さんと話し合いをしながら、別の事業を含めて検討を進めている。やるかどうかは、はっきりしていないが、他の活用も含めて、検討しているところである。

## 一般質問「そこが知りたい」

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

### ケーブルテレビの光化に 1億5千万円余 西村祥夫

#### 1. 村道滝越線の改良について

**問** 待避所をもう少し増やして欲しい。また、狭いところは広くしてもらいたい。

**答（経済産業課長）** 路肩面、山側ともに急な斜面が多く、拡幅には相当な費用がかかる。地形的に難しい箇所が多いため早急な対応はできない。

**問** 側溝に蓋がなく、村外からの車が車輪を落とすことが多い。側溝に蓋をしてもらいたい。

**答（経済産業課長）** 状況は把握している。検討しているところであるが、現在の側溝に蓋をしても重量車には耐えられないため側溝の作り替えが必要となる。予算的に厳しいと考えている。

集水パイプを入れて砂利で埋める方法もあるが、重量に耐えられないことと、山側からの雨水を吸収しきれずに路肩を洗ってしまうことも想定される。

**問** 携帯電話の不感地帯があるため夜間の通行などはためられる。村から通信会社に要望してもらいたい。

**答（経済産業課長）** 以前から要望はしているが、電力供給などの問題がある。住民や来訪者からの要望が効果的とも聞いている。

#### 2. 鳥獣害対策への補助金について

**問** 鳥獣害対策への補助金について、王滝村は手厚いと思われるが、地目が宅地のために補助対象



有害獣防除事業補助金を使って設置された電機柵

外となっている場所について、現状に合わせた柔軟な対応を求める声がある。

村の対応についてお聞きしたい。

**答（経済産業課長）** 最近は特に住宅近くでの被害が増えていることは認識している。柔軟な対応ができるよう考えていきたい。

### 3. ケーブルテレビのFTTH化について

**問** 現在、木曾広域ではケーブルテレビのFTTH化について検討されているが、相当に多額の費用が想定されている。仮に実施するとした場合、村の負担はどの程度になるか。また、他の計画されている事業の実施に影響がでることはないか。

**答（総務課長）** 計画では木曾郡全体で約42億7千万円、国の補助が16億4千万円程になると想定されている。

村の負担は1億5千万円余となるが過疎債が充当できる。村としては32年度までに防災無線のデジタル化を実施しなければならないために、やるとすれば30年度が望ましい。ただ、郡全体でやらなければならないために確定的なことは言えない。

#### 豆知識

「ケーブルテレビのFTTH化」とは、現在のケーブルテレビは光ファイバーと同軸ケーブルで構成されていますが、全てをランニングコスト、耐用年数に優れた光ファイバーに置き換えること。

## 基金の運用を検討しては いかがか 三浦清吉

### 1. スキー場運営について

**問** 現スキー場は、13年前スキー場検討委員会が設置され、民間に運営を委託することとし（指定管理者）、現在に至っているが、今後も同じ方法で行くのか伺います。

**答（総務課長）** スキー場については、今後も指定管理者で継続していきたい。

**問** 提案ですが、スキー場の在り方についての考え方を原点に戻し、大きなスポーツ施設を管理運営するという考え方で継続することはできないか。



30年1月1日の2240スキー場ゲレンデの様子  
（第5クワッドリフト乗り場付近）

松原スポーツ公園や国民体育館などと同様に、赤字はほとんど村が負担し、売り上げは村にほとんど入らないと聞いている。スキー場運営ができる地域おこし協力隊員を10人くらい募集し（永住を条件として、人づくりから、11月～5月）、オフシーズン（6月～10月）は、村の観光施設等の運営に携わる。3年くらいかけて、人づくりから始め、動き出してみたら如何か。急な提案ですので、村側で、十分検討研究され、対応を期待する。

また、指定管理者については、早めに対応していただきたい。何故なら、前の年に管理者を決め対応しなければ、益々お客さんは減ってしまうと思う。特に、子供たちの一般の団体でのスキー教室や修学旅行などは、一年前に計画を立てることが当たり前で、その年にならないと決まらないというのでは遅すぎる。ぜひ早め早めに定めていただきたい。

### 2. 基金の運用について

**問** 広報によると、村の基金は十数億円と掲載されていましたが、これの一部（1～5億円）を「投資信託」などで運用することは出来ないか。もちろんリスクはあるが、国でも運用している事だ。勉強して運用してみたらどうか。現在の普通貯金の利息は0.002%位と思うが、投資信託で仮に5億円を運用すれば、5億円×20%＝1億円という計算になる。多くの基金が多いと交付金の減額など国からの指導が来るのではと心配する。また、うまくいけば住民の希望もかなえることもできると思う。一つの事業として予算計上し、専門の職員を置いてよいのでは、法律で禁止されている

のか解らないが、十分検討研究してやってみる価値はあると思うが如何か。

**答（総務課長）** 原則として「王滝村財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例」があり、運用は「金融機関の預金その他最も確実かつ有利な方法により管理しなければならない」と定められてる。一方、「必要に応じ最も確実かつ有利な有価証券に代える事ができる」となっている。ご提案の投資信託は基本的に元本が保証されている商品ではない。また基金は村民の共通の財産であり、現在のところはリスクの伴う運用は難しいと考えている。国では地方自治体の基金運用について預金以外の運用を進めており、一部金融機関から村のほうへ金融商品として紹介や説明にも来ているが、村としては今後も条例の範囲内で、確実かつ有利な方法で基金管理の調査・研究をしていきたいと考えている。

**問** 前向きに予算化をし、投資信託にこだわらず預金以外の運用も含め、事業として行うことはどうなのか調査・研究し、実現できることを期待する。

#### 豆知識

「投資信託」とは一般投資家から集めた資金を、運用の専門家が国内や国外の債権や株式で運用し、その運用成果を投資家に配分する金融商品。運用によっては貯金以上の収益を得ることができるが、元本割れすることがある。

## 瀬戸村政3期12年の 現状と課題は何か 下出謙介

### 1. 出馬表明について

**問** 12月2日の市民タイムスで4選出馬へと報じられているが、立候補の意向を固めたのはいつ頃からか。

**答（村長）** 他に立候補の方があることを願いつつ、秋の例大祭の折に出馬の意思固めをした。

### 2. 健康状態について

**問** 村内外でいろいろな話が飛び込んで来ておりますが、村長の体は大丈夫か、この頃体調不良を訴えているが、見たところ尋常ではないようだ、顔色も余り良くない、といった様々な村長健康説が、飛び交っている。こういった心配しての話であると思いますが、現状の健康状態について、伺いたい。



4選出馬を表明している瀬戸村長

**答（村長）** 噴火後に少々膝を痛め、少しの間歩くことは控えております。健康については、木曾病院の診察結果血圧も安定しており年齢に応じそれ相応の健康であるとお墨付きは頂いている。皆さん方の心配していただいていることに感謝申し上げます。

### 3. 3期12年公約に掲げてきたことについて

**問** 旧村営スキー場、現2240スキーの債務は完済し健全な財政運営に立て直した。一方、定住人口の確保、高齢化に伴う遊休農地の解消、アウトドアスポーツを積極的に入れた観光振興、また、住宅政策と空き家対策、子育て支援を関連付けた定住人口の確保、公共交通の利便性の向上、保育料の無償化の継続、児童・生徒の給食費の継続化といった様々な政策を公約に掲げ取り組んできたが、ここで現状と課題について伺います。

**答（村長）** 財政の立て直しに取り組んできたが、これからは健全な財政運営規律を守りながら総合戦略に応じて進めていく。



今年度完成した東地区緑地公園

## 平成29年木曾広域連合議会 第4回定例会（報告）

平成29年木曾広域連合第4回定例会報告  
平成29年11月24日午後2時開議

1. 議長選挙 岩佐孝和（大桑村）
2. 行政報告
3. 委員会報告 経済観光常任委員会視察報告
4. 陳情第1号 経済観光常任委員会に付託  
不採択
5. 議案第15号 木曾広域連合情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正について
6. 議案第16号 木曾広域連合職員の給与に関する条例の一部改正について
7. 議案第17号 木曾広域連合副管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

8. 議案第18号 廃棄物処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
9. 議案第19号 平成29年度木曾広域連合一般会計補正予算(第3号)
10. 議案第20号 平成29年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)

平成29年木曾広域連合第1回臨時会報告  
平成29年12月5日午後2時開議

1. 議長選挙 岩佐孝和（大桑村）
2. 副議長選挙 中村今朝男（上松町）
3. 議席の指定
4. 委員会委員の選任 下出謙介(総務)、西村祥夫（経済観光、福祉環境）
5. 議会運営委員会委員の選任 下出謙介

## 松塩筑木曾老人福祉施設組合 議会11月定例会

組合定例議会が、11月7日に塩尻市保健福祉センターで開催された。

定例会に上程された議案は以下の通り

- ①平成28年度松塩築木曾老人福祉施設組合一般会計歳入歳出決算認定について
- ②松塩築木曾老人福祉施設組合特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例
- ③松塩築木曾老人福祉施設組合特別職の職員の報酬に関する条例の一部を改正する条例
- ④松塩築木曾老人福祉施設組合議会の議員の議員報酬に関する条例の一部を改正する条例
- ⑤監査委員の選任について
- ⑥公平委員会委員の選任について
- ⑦平成29年度塩築木曾老人福祉施設組合一般会計補正予算（第2号）

「28年度決算認定について」は歳入が47億2,549万2,311円、歳出が46億7,340万5,171円で実質収支が5,208万7,140円で黒字決算となった。

「特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例について」は、「介護保険法」が28年4月

1日に改正されたことに伴うもの。

「特別職の職員の報酬に関する条例の一部を改正する条例について」と「議員の議員報酬に関する条例について」は報酬の支給方法についての改正。

「監査委員の選任について」は1名の監査委員の任期満了に伴う選任で、高砂(たかさご)礼(れい)次(じ)氏が再任された。

「公平委員会委員の選任について」は、委員の死去及び任期満了に伴う選任で、北川(きたがわ)直樹(なおき)氏が再任、伊藤(いとう)高良(たかよし)氏が新任された。

「29年度一般会計補正予算について」は、人事異動に伴う人件費、嘱託員の欠員に伴う臨時職員賃金、緊急を要する施設維持管理経費として5,990万円を補正し、45億5,810万円とするもの。決算認定については認定、条例の一部改正及び補正予算については可決、委員の選任2件についてはそれぞれ同意された。

定例会終了後引き続いて議員全員協議会が開催され、給与制度等検討委員会の委員の指名と平成30年度から32年の実施計画の策定について事務局より説明があった。

## 請願と陳情

12月定例会で審議された請願・陳情等の採択・不採択状況は下記のとおり。

●「全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情書」 (採択)

●「森林・林業・木材関連政策の推進を求める陳情書」 (採択)

●「若い人も高齢者も安心できる年金制度を国の責任で創設するための意見書提出に関する陳情書」 (資料配布)



校庭に飾られたイルミネーション  
今年はひとときわ綺麗でした

## 《 編集後記 》

昨年暮れの頃、突然我が家に猫がやってきた。野良であるがこれが妙に人懐こく、「ミャーミャー」と甘えた声でまとわりついてくるので、つつい可愛がってしまう。今では、外に置いたダンボール小屋が彼(雄猫)の住みかだ。野良とはわかっていながらそこにいないと心配している自分がある。甘えてくる愛らしい姿を見ていると心が癒される。野良なのでまたどこか放浪の旅に出ていってしまうかもしれないけど、それまでは精一杯の愛情を注いでやろうと思う。(広)

## 議会日誌

### 9月

19日 御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑建立実行委員会  
(松原スポーツ公園)

23日 保育園運動会

25日 県への陳情に関する意見交換会(木曽町)

27日 御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑序幕式・追悼式  
(松原スポーツ公園)

28日 例月出納検査(8月分)

29日 木曽広域連合福祉・保健医療懇談会(木曽町)

30日 翔岳祭・小中合同音楽会(小中学校)

### 10月

3日 郡町村議会議長会陳情(飯田国道事務所・中部地方整備局)

7日 「長寿を祝う会」(村公民館)

11日 郡町村議会議長会

15日 議会だより137号発行

村議会議員一般選挙

木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会  
(南木曽町)

26日 村議会懇談会

30日 10月臨時会(初議会)

31日 郡町村議会議長会陳情(県知事部局・中部森林管理署・県議会)

例月出納検査(9月分)

### 11月

1日～2日 町村監査委員全国研修会(東京都)

3日 御前崎中学校PTA交流会

7日～8日 中部国道協会促進大会(東京都)

14日～15日 全国過疎地域自立促進連盟総会  
(東京都)

17日 郡町村議会議長会

20日 地方自治70周年記念式典(東京都)

21日 郡町村議会議長会陳情(国土交通省・財務省)

22日 町村議会議長全国大会(東京都)

24日 御嶽山噴火災害からの復興に関する陳情  
(長野市)

木曽広域連合11月定例会(木曽町日義)

28日 例月出納検査(10月分)

29日 議会運営委員会、議会全員協議会

### 12月

1日 おんたけ2240スキー場安全祈願祭

5日 郡町村議会議長会

木曽広域連合議会臨時会

8日 全員協議会、議会運営委員会

13日 村議会12月定例会(開会)

26日 例月出納検査(11月分)